

## デジタル社会における県内企業等の経営課題及び人材確保に関する実態調査 アンケート調査票

### 【質問1：貴社の基礎情報、風土等に関するご質問】

- (1) 現経営者の経営年数、経営形態について、当てはまる選択肢にそれぞれ一つ〇をつけてください。

現経営者の 経営年数	a. 3年以内	b. 3年～5年以内	c. 5年～10年以内
	d. 10年～20年以内	e. 20年～30年以内	f. 30年超
経営形態	a. 親族経営である	b. 親族経営でない	c. その他〔 〕

- (2) 貴社の組織の雰囲気や傾向として、以下の項目ごとに最も近い番号に一つずつ〇をつけてください。

組織の雰囲気や傾向	【回答選択肢】				
	1	2	3	4	5
社会や顧客への貢献意識が強い	1	2	3	4	5
仕事を楽しんでいる人材が多い	1	2	3	4	5
変革や挑戦を好む	1	2	3	4	5
スピードが重視される	1	2	3	4	5
実力主義である	1	2	3	4	5
自社や自社ブランドが好きな人材が多い	1	2	3	4	5
今後目指すべき目標が明確である	1	2	3	4	5
果敢に挑戦することが尊重される	1	2	3	4	5
個人の裁量が大きい	1	2	3	4	5
管理部門よりも事業部門の権限が強い	1	2	3	4	5

### 【質問2：経営課題解決に向けた取組及び、デジタル技術活用に関するご質問】

- (1) デジタル技術※の普及が貴社に与える影響に最も近い番号に一つ〇をつけてください。

また、お選びになった理由についてご記入ください。（自由記述）

想定される貴社 への影響	1. 好影響を受ける	2. 悪影響を受ける
	3. 影響を受けない	4. わからない
上記の選択理由 (自由記述)		

※本調査では、デジタル技術とは、「ICT（情報通信技術）」「IoT（モノのインターネット化）」「ビッグデータ（膨大なデータ群）」「AI（人工知能）」「RPA（業務の自動化）」等、多くの情報をデータに変え、分析することで、生産性向上や付加価値向上を実現するための技術と定義しています

(2) DX(デジタルトランスフォーメーション※)についてご存じですか。

最も近い番号に一つ〇をつけてください。

1. 知っている	2. 聞いたことはあるが、詳しくはわからない
3. 聞いたことが無い	

※本調査ではDX(デジタルトランスフォーメーション)とは、事業を取り巻く環境変化を踏まえ、「デジタル技術の活用」による「ビジネス変革」を進めることをDX(デジタルトランスフォーメーション)と定義しています

(3) 貴社では、デジタル技術の活用を含めたビジネス変革の必要性を感じていますか。

またそのような取組を行っていますか。最も近い番号に一つ〇をつけてください。

1. 必要性を感じ、既に取り組んでいる	2. 必要性を感じているが、まだ取り組んでいない
3. 必要性を感じていない	

(4) 貴社のビジネスにおける、経営課題解決に向けた取組について、優先度の高い項目から順に

[1]~[3] (最大三つ) の順位を数字でご記入ください。

<input type="checkbox"/> 業務の効率化による生産性の向上	<input type="checkbox"/> 現在のビジネスモデルの抜本的な変革
<input type="checkbox"/> 既存製品・サービスの高付加価値化	<input type="checkbox"/> 企業文化や組織風土の抜本的な変革
<input type="checkbox"/> 新規製品・サービスの創出	<input type="checkbox"/> その他 ( )

(5) 貴社の経営課題の解決に向けた、デジタル技術活用の取組状況について、以下の取組ごとに

それぞれ現状に最も近い番号に一つずつ〇をつけてください。

	デジタル技術活用の現在の取組状況				
	既に十分な成果が出ている	既にある程度の成果が出ている	今後の成果が見込まれている	まだ見通しはわからない	取り組んでいない
業務の効率化による生産性の向上	1	2	3	4	5
既存製品・サービスの高付加価値化	1	2	3	4	5
新規製品・サービスの創出	1	2	3	4	5
現在のビジネスモデルの抜本的な変革	1	2	3	4	5
企業文化や組織風土の抜本的な変革	1	2	3	4	5

(6) 貴社において経営課題の解決に向けたデジタル技術の活用は、課題解決の手段のうち、

どの程度重要なものとして位置付けられていますか。最も近い番号に一つ〇をつけてください。

1. 最も重要な手段である	2. 重要な手段の一つである
3. 課題解決の手段の一つとして認識はしている	4. 課題解決の手段としては認識していない

**【質問3：業務フロー上の課題及び、デジタル技術活用に関するご質問】**

(1) 貴社のビジネスにおける業務フローの中で、どの業務に課題があると考えていますか。

課題感の強い項目から順に[1]～[3]（最大三つ）の順位を数字でご記入ください。

<input type="checkbox"/> 研究開発（商品・サービスの技術研究等）	<input type="checkbox"/> 企画（商品・サービスの調査・設計等）
<input type="checkbox"/> 調達（原材料・半製品購入等）	<input type="checkbox"/> 製造・生産（製造・生育・収穫等）
<input type="checkbox"/> 加工（調理・切削・組立・剪定等）	<input type="checkbox"/> 建設・施工
<input type="checkbox"/> 販促（マーケティング等）	<input type="checkbox"/> 販売（料金徴収・契約管理・収益管理等）
<input type="checkbox"/> 接客・サービス提供	<input type="checkbox"/> 物流（出荷・在庫管理等）
<input type="checkbox"/> 管理（顧客管理・施設管理等）	<input type="checkbox"/> バックオフィス（人事・総務・経理等）

(2) (1)でご回答頂いた、最も課題感の強い項目（[1]を記入頂いた項目）について、どのような課題を抱えているのか、具体的な内容をご記入ください（自由記述）。

具体的な課題：

(3) (1)のご回答について、課題解決に向けたデジタル技術の活用有無及び、改善に向けて取り組んでいるものがあれば、取組成果の選択肢に一つずつ○をつけてください。

※取り組んでいない場合は未回答で構いません

優先度	デジタル技術の活用	取組成果		
例	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	<input checked="" type="radio"/> 成果が出ている	<input type="radio"/> 今後の成果が見込まれる	<input checked="" type="radio"/> まだ分からない
課題[1]	<input type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	<input type="radio"/> 成果が出ている	<input type="radio"/> 今後の成果が見込まれる	<input type="radio"/> まだ分からない
課題[2]	<input type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	<input type="radio"/> 成果が出ている	<input type="radio"/> 今後の成果が見込まれる	<input type="radio"/> まだ分からない
課題[3]	<input type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無	<input type="radio"/> 成果が出ている	<input type="radio"/> 今後の成果が見込まれる	<input type="radio"/> まだ分からない

**【質問4：デジタル技術活用における課題に関するご質問】**

(1) 貴社においてデジタル技術活用の障壁として当てはまる番号すべてに○をつけてください（複数回答可）。

1. 自社におけるデジタル技術活用推進の目標が明確ではない
2. 自社の組織風土・企業文化に合わない
3. デジタル人材の育成・確保が出来ていない
4. ITシステムの構築・改修の費用的負担が大きい
5. 社外の連携先が見つからない
6. 様々な取組を行っているものの、なかなか成果・収益が見込めない
7. デジタル技術の活用を検討したことがない
8. その他（ ）



- (2) 貴社がデジタル技術の活用を推進する上での社外連携の目的は、どのようなものが考えられますか。連携先ごとに最も近い番号に一つずつ○をつけてください。

※(1)で「感じていない」とお答えになった連携先については、未回答で構いません。

連携先	自社にない技術力を獲得するため	自社にない事業ノウハウを獲得するため	新たなアイデアを創発するため	自社にないデータを獲得するため	自社にない顧客基盤を獲得するため	その他
IT企業	1	2	3	4	5	6
コンサル企業	1	2	3	4	5	6
大学・研究機関	1	2	3	4	5	6
ベンチャー企業	1	2	3	4	5	6
異業種企業	1	2	3	4	5	6
同業他社	1	2	3	4	5	6
金融機関	1	2	3	4	5	6
その他 ( )	1	2	3	4	5	6

- (3) デジタル技術の活用を推進する上で、社外連携の取組を実施していますか。

以下の連携先ごとに当てはまる番号に一つずつ○をつけてください。

※(1)で「感じていない」とお答えになった連携先については、未回答で構いません。

連携先	連携している	連携していない
IT企業	1	2
コンサル企業	1	2
大学・研究機関	1	2
ベンチャー企業	1	2
異業種企業	1	2
同業他社	1	2
金融機関	1	2
その他 ( )	1	2



**【質問6：将来採用したいと思う人材（社員）に関するご質問】**

(1) 貴社において、『将来採用したいと思う人材（社員）』には、どのような考え方や能力を期待するか、以下の項目ごとに最も近い番号に一つずつ○をつけてください。

『将来採用したいと思う人材（社員）』の条件	【回答選択肢】				
	1：必要	2：やや必要	3：どちらとも言えない	4：あまり必要ない	5：必要ない
自社の業界を理解し、世の中の環境変化と将来動向を読み解く能力	1	2	3	4	5
内部・外部の人材・組織を巻き込みながら、人脈を拡大し、必要となる体制構築や予算確保を牽引する能力	1	2	3	4	5
市場や顧客の課題やニーズをくみ取って、新たなビジネスやサービスを発想し、魅力ある企画に仕立て上げる能力	1	2	3	4	5
業務フロー上の課題を分析し、どのようなITソリューションが必要であるか全体像を描くことができる能力	1	2	3	4	5
様々なデータを取り扱うことで、ビジネス上の意思決定に役立てたり、各種経営指標の数値化・分析ができる能力	1	2	3	4	5
データ分析の環境を整えるために、データの収集や加工ができる能力	1	2	3	4	5
自社サービスの効果的な宣伝のために、ホームページやPR動画等の、デザイン・作成・編集ができる能力	1	2	3	4	5
特定のシステムやアプリケーションについて、自身で設計・構築を担うことができる能力	1	2	3	4	5
システム導入やアプリケーションを開発する際に、どういった機能が必要であるかを定義・開発担当者と協議できる能力	1	2	3	4	5

(2) 『将来採用したいと思う人材（社員）』に期待する考え方や能力についてご記入ください（自由記述）

期待する考え方や能力：
-------------

- (3) (1)～(2)のような人材の獲得にあたっての課題として当てはまる番号すべてに○をつけてください  
**(複数選択可)**

1. 採用に向けての人材要件の設定ができない
2. デジタル人材採用の条件（待遇等）が合わない
3. 候補者とのつながりが無く、探すことができない
4. 候補者が地域にいない
5. 獲得できても定着しない
6. デジタル人材の獲得を必要としていない
7. その他（ ）

**【質問7：人材（社員）の獲得方法に関するご質問】**

- (1) 貴社内のデジタル人材の獲得方法について、人材のタイプごとに最も近い番号に一つずつ○をつけてください。

デジタル人材	既存の人材を育成	中途採用により獲得	新卒採用により獲得	連携企業等に委託	獲得予定はない
デジタル技術活用を主導するリーダー格の人材	1	2	3	4	5
デジタル技術活用に関する事業の企画・立案・推進等を担う人材	1	2	3	4	5
システムやアプリケーションの設計・構築・実装ができる人材	1	2	3	4	5
データの扱いに精通した人材	1	2	3	4	5

**【質問8：行政のデジタル技術支援策に関するご質問】**

- (1) デジタル技術の活用推進を進めていくうえで、国や県に最も期待することの番号に一つ○をつけてください。

1. 専門知識の提供（デジタル技術活用に関する専門家の派遣）
2. 異業種交流会の開催・事業者の紹介（連携先企業・ITベンダーの紹介等）
3. 資金支援（デジタル技術導入に係る費用の補助等）
4. 人材育成支援（デジタル技術活用に係る研修会・セミナーの開催等）
5. 行政のデジタル支援施策の必要性を感じない
6. その他（ ）

**【質問9：その他】**

- (1) 本アンケートでお答え頂いた内容を、今後実施する事業の推進に活用することに同意いただけますか。  
当てはまる番号に一つ〇をつけてください。

1. 同意する	2. 同意しない
---------	----------

- (2) 貴社へデジタル技術活用に関する情報の連絡を希望される場合、差支えなければご連絡先・ご担当者名を  
ご記入ください。(任意)

貴社名	
ご住所	〒
電話番号	

ご担当者氏名	
部署	
役職	
直通電話番号	
メールアドレス	

以上でアンケートは終了となります。  
ご協力ありがとうございました。

ご回答いただいたアンケートは同封の返信用封筒（切手不要）に入れ

**令和3年2月19日（金）**

までにご投函いただきますよう、お願いいたします。